



令和7年度 村上市立岩船中学校 教育ビジョン



目指す学校の姿

「安心・安全な環境のもと、皆が生き生きと楽しく充実した生活を営むことができる心の居場所となる学校」



【学校教育目標】

心豊かに ねばり強く やり抜く生徒

【目指す生徒の姿】

自分のよさを生かし他と関わりながら学び、
広い視野と高い思考力を身に付け、
主体性を発揮して将来を切り拓こうとする生徒

村上市が目指す子どもの姿

「郷に生きている」ことに自信と誇りを持ち、自らの進路を切り拓いていくことのできる実力（知力・気力・体力・徳性）を備えた子ども

【知】主体的に学び 他との関わりの中で学びを深める生徒

- (1) 主体的・対話的で深い学びを獲得する授業の構築
内発的動機付けを意識した授業の工夫、対話的活動と振り返り
- (2) 指導と評価の一体化
単元を見通した学習過程の工夫、単元テストと定期テストの併用による学力向上と評価
- (3) 個別最適な学びと協働的な学びの実践
- (4) 家庭学習習慣の確立、学習時間の質・量、自己調整力の育成
- (5) ダイバーシティ & インクルージョンに基づく教科、総合、道徳科の実践
- (6) 個々の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

- 夢や希望の実現に向けて、自分のよさに気づき、「主体性」、「自己肯定感」を高める
- 「対話」と交流による信頼関係を築く
- 自律的な学びを促進する「自己調整力」を高める

生徒の実態

- ・明るく素直で、何事にも協力的。一生懸命で、郷土愛が深い。
- ・対話的な学習に対して意欲的に取り組み、学力の定着につなげる生徒が多い。
- ・自己肯定感が高い生徒が少ない。
- ・自分に自信を持ち、将来の夢や目標を明確にする生徒が少ない。
- ・家庭学習量、メディアコントロールが課題である。



【徳】主体性を身に付け 協同・協働する生徒

- (1) 生徒の力による生活の向上・充実、より良い学校づくりの推進
特別活動の充実と自己肯定感の向上
意志決定・合意形成を図る学習過程の構築、
主体性と対話を重視した場の設定、PDCAサイクルによる取組改善
- (2) 自己指導能力の伸長・コミュニケーション力の向上
自己決定の場 自己存在感の獲得 共感的人間関係の構築
学年を超えた共同学習の実践 主体性を育む言葉掛け
- (3) 道徳教育の充実
豊かな人権感覚、自他の人権を守る実践力
物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考える
- (4) キャリア教育の充実
自己肯定感の育成、夢や目標を設定する力の育成
日本社会に根ざしたウェルビーイング向上

【体】健康的な生活習慣を身に付け 心と体の調和がとれた生徒

- (1) 自己調整力の向上
フォーサイト手帳の活用 メディアコントロールを中心に主体的で健康的な生活習慣の確立
- (2) 体力の向上
体を動かすことを楽しみ体力を向上させようとする意識と行動力の向上、一学校一取組の実践、放課後の時間の活用
- (3) 心身の健康の増進
健康教育を推進し、命の大切さ、自他を大切にする心の醸成、自ら生活（心身や感情等）を整える自己調整力の育成
- (4) 安心・安全な学校づくり
情報モラル教育の実践、危険予測・回避能力の向上
施設・設備、教具等の適切な使用と整備



岩船小学校との連携・協働

義務教育9年間を見通した生徒の育成「協働した取組」「共通した取組」「積み上げる取組」の実践

他校（神林中）や上級学校との交流・連携

他の中学校や上級学校との交流の機会を設定し、少人数では得られない学びや視野の広がりを目指す

行政や外部機関との連携・協力

部活動の地域移行の推進



家庭との連携・協働

- ① 自己調整力（家庭学習、メディア、睡眠、「早寝、早起き、朝ごはん」）の習慣化
- ② 諸課題を共有し、生徒の成長を支えるパートナーとして連携・協働して解決

地域との積極的な連携・協働

- ① 人的・物的な資源を有効活用し、生徒が地域で学び、活動・活躍・貢献する地域学校協働活動を推進
- ② 目指す生徒像の実現、学校や地域の課題の解決等を協働実践



信頼される学校づくりにおける教師のあり方

- ・生徒の姿を通して説明責任を果たす
- ・学校評価を生かした教育活動の改善
- ・教職員の資質・能力の向上（校内研修、服務規律の確保、研修履歴の活用と受講奨励）
- ・働き方改革のさらなる推進（ICTによる校務の効率化）とワークライフバランス実現

